
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2012年第2週
(1月9日～1月15日)

- * 2012年1月18日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2011年12月)の疾患及び感染症豆知識
「ロタウイルスワクチン」も掲載しています。

平成24(2012)年1月19日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2012年2週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		51週	52週	1週	2週		2週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	88	76	32	42	74	262	510
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
三類	コレラ						1	1
	細菌性赤痢	1	3				5	7
	腸管出血性大腸菌感染症		1		1	1	16	26
	腸チフス							
	パラチフス			1		1		1
四類	E型肝炎				1	1	4	5
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1				1	2
	エキノコックス症							
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							
	つつが虫病		2				8	26
	デング熱				2	2	3	5
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア	2						1
野兎病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	1				6	20	
レプトスピラ症				1	1		1	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		51週	52週	1週	2週	年累計	2週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	5	5	1	3	4	9	21
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	2	1		1	1	1	3
	急性脳炎 *2			1		1	6	9
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	1	1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1		1	2	12
	後天性免疫不全症候群	2	14	8	6	14	9	21
	ジアルジア症	2						
	髄膜炎菌性髄膜炎						1	1
	先天性風しん症候群							
	梅毒	3	6	3	5	8	9	18
	破傷風						1	5
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	1		1
	風しん	1					1	4
麻しん		1		3	3	6	11	
2012/1/18集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 42件 肺結核 26件、その他の結核 15件、肺結核及びその他の結核 1件、年齢は10代 1件、20代 6件、30代 5件、40代 1件、50代 7件、60代 9件、70代 5件、80代 7件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 41件、中国 1件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 1件 患者、血清型・毒素型はO157 VT(型不明)、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 患者、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

デング熱 2件 患者 2件、年齢は20代 1件、40代 1件、推定感染地はインドネシア 1件、タイ又はベトナム又はラオス 1件であった。

レプトスピラ症 1件 患者、年齢は60代、推定感染地は国内(東京都)、推定感染経路は動物・蚊・昆虫(ネズミ)からの感染であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 腸管アメーバ 3件、年齢は30代 1件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、フランス 1件、推定感染経路は性的接触 3件(異性間 1件、同性間 1件、性別不明 1件)であった。

ウイルス性肝炎 1件 EBウイルス、年齢は10代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 古典型CJD、年齢は80代であった。

後天性免疫不全症候群 6件 AIDS 2件、無症候キャリア 2件、その他 2件、AIDS患者の年齢は20代 1件、30代 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は30代 3件、40代 1件、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は性的接触(同性間) 6件であった。

梅毒 5件 早期顕症梅毒Ⅰ期 1件、早期顕症梅毒Ⅱ期 3件、無症候梅毒 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は性的接触 5件(同性間 4件、性別不明 1件)であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 遺伝子型は*vanC*、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

麻しん 3件 検査診断例 1件、修飾麻しん 1件、臨床診断例 1件、年齢は5歳未満 1件、10代 1件、20代 1件、推定感染地は国内 2件、タイ 1件、麻しん含有ワクチン接種歴は接種なし 2件、不明 1件であった。検査診断例はタイでの感染が疑われ、遺伝子検査でD8型が検出されている。

※ 2011年第52週該当分として、〔五類〕アメーバ赤痢1件、2012年第1週該当分として、〔五類〕後天性免疫不全症候群 1件、梅毒 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2012年2週

定点種別	対象疾患	2011年		2012年			報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		51週	52週	1週	2週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	144	118	85	73	0.28	264	264
	咽頭結膜熱	125	85	79	62	0.23		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	701	353	227	412	1.56		
	感染性胃腸炎	5,413	3,478	1,921	3,027	11.47		
	水痘	732	514	590	571	2.16		
	手足口病	35	21	25	34	0.13		
	伝染性紅斑	59	34	67	68	0.26		
	突発性発しん	176	100	78	137	0.52		
	百日咳	7	8	5	2	0.01		
	ヘルパンギーナ	11	3	4	7	0.03		
	流行性耳下腺炎	85	52	76	69	0.26		
	川崎病 (注1)	3	3	1	4	0.02		
	不明発しん症 (注1)	19	14	9	21	0.08		
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	291	324	387	1,348	3.22	418	419
眼科	急性出血性結膜炎						39	39
	流行性角結膜炎	24	16	35	23	0.59		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	2	1	1			25	25
	無菌性髄膜炎	2	5	1	4	0.16		
	マイコプラズマ肺炎	33	38	31	27	1.08		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)							
	インフルエンザ入院 (注4)	1	5	7	12	0.48		

2012/1/18集計

(注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

(注4) 2011年36週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は増加し、流行開始の目安となる定点あたり1.0を超えた。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。
- ・ マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年平均と比較して高い値で推移している。
- ・ インフルエンザ入院の報告数は増加した。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

世田谷区

- ・ アデノウイルス迅速キット陽性 2名、マイコプラズマ肺炎 5名
- ・ 伝染性単核球症の40代 1名。
- ・ 感染性胃腸炎 15名中1名、ロタウイルス陽性。

荒川区

- ・ 感染性胃腸炎 21名中1名、ロタウイルス陽性。
- ・ 感染性胃腸炎 カンピロバクター、病原性大腸菌O18 各1名。

※ インフルエンザの迅速診断結果及びコメントは14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2012年2週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～6か月	24			23	13			2	2	
～1歳	17	3	3	200	14	2		48		
1歳	26	11	21	590	122	12	2	74		4
2歳	4	11	17	365	110	4	7	10		
3歳		10	53	274	88	3	7	3		1
4歳	2	9	58	242	66	5	15			
5歳		5	54	175	64	3	12			
6歳		4	50	123	31	1	10			
7歳		3	35	131	21		2			
8歳		3	27	108	14	2	3			
9歳			22	81	8	1	6			
10～14歳		2	40	274	18	1	4			
15～19歳			3	57	1					
20～29歳		1	29	384	1					2
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	73	62	412	3,027	571	34	68	137	2	7
先週比	-12	-17	185	1,106	-19	9	1	59	-3	3

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～6か月			1	2		1
～1歳		1	3	14		1
1歳	1	2	8	44		
2歳	3		1	53		
3歳	5	1	1	73		2
4歳	14			98		
5歳	12		3	88		
6歳	9		1	81		
7歳	8		1	83		
8歳	4		1	69		
9歳	5			57		1
10～14歳	3			191		
15～19歳	1			72		
20～29歳	4		1	120		1
30～39歳				130		7
40～49歳				93		6
50～59歳				40		1
60～69歳				22		2
70～79歳				14		1
80歳以上				4		
合計	69	4	21	1,348		23
先週比	-7	3	12	961		-12

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数 【年齢階級別】 2012年2週

	風しん	麻しん
0歳		1
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		1
15～19歳		
20～29歳		1
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		3

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2012年2週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田			2	10	2			1		
中央区		1	2	9	9	4		1		
みなと	4	4	3	50	17		1	3		
新宿区	6		8	70	12			1		
文京	2	1	2	21	3	1	1	2		
台東			5	45	3		2	6		
墨田区	3		18	23	19		3	1		
江東区	7	1	14	161	22	3	8	4		
品川区			9	102	27			5		
目黒区			1	19			2			
大田区	5	10	22	160	21		2	6		
世田谷	4	3	8	201	27	5	1	1		
渋谷区		1		33	6			3		
中野区	3	1	1	111	8			3		
杉並		1	34	83	5	1		7		
池袋			1	38	1			1		
北区			9	62	12	2		4		
荒川区	4	6	13	60	7	1		3		
板橋区			2	61	13	1	2	3		
練馬区	1	1	29	138	40		1	10		
足立	2	1	11	155	25	1	4	9		1
葛飾区	1	1	13	142	6		2	4		1
江戸川	4	9	20	194	46	3	1	9		2
八王子市	8	1	29	221	61	1	3	4	1	
町田市			37	133	32	1	1	5		1
西多摩		3	7	71	14	1		4		
南多摩	3		11	116	22	1	4	4		2
多摩立川	5		23	121	27		1	2		
多摩府中	4	3	35	206	54	7	13	14		
多摩小平	7	14	43	211	30	1	2	17	1	
島しょ							14			
東京都合計	73	62	412	3,027	571	34	68	137	2	7

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】2012年2週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田			1	9		
中央区				10		
みなと				20		
新宿区	7			31		4
文京	1			21		2
台東	2			23		
墨田区				12		
江東区			3	71		
品川区				16		
目黒区	1			6		
大田区	6	1		55		
世田谷	4		2	72		
渋谷区				16		2
中野区	6			17		
杉並	2			32		
池袋				19		
北区	5			35		
荒川区				21		
板橋区	1		1	19		
練馬区	3			83		
足立	2			71		3
葛飾区			1	86		2
江戸川	2			68		
八王子市	12		3	78		1
町田市	2		4	33		
西多摩	1		1	33		
南多摩	1	1		56		
多摩立川	6		5	90		
多摩府中	2	1		98		2
多摩小平	3	1		139		7
島しょ				8		

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		1
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		1
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		1
八王子市		
町田市		
西多摩		
南多摩		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	69	4	21	1,348		23
-------	----	---	----	-------	--	----

東京都合計		3
-------	--	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2012年2週

定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田			0.67	3.33	0.67			0.33		
中央区		0.33	0.67	3.00	3.00	1.33		0.33		
みなと	0.67	0.67	0.50	8.33	2.83		0.17	0.50		
新宿区	0.75		1.00	8.75	1.50			0.13		
文京	0.50	0.25	0.50	5.25	0.75	0.25	0.25	0.50		
台東			1.25	11.25	0.75		0.50	1.50		
墨田区	0.60		3.60	4.60	3.80		0.60	0.20		
江東区	0.78	0.11	1.56	17.89	2.44	0.33	0.89	0.44		
品川区			1.13	12.75	3.38			0.63		
目黒区			0.20	3.80			0.40			
大田区	0.38	0.77	1.69	12.31	1.62		0.15	0.46		
世田谷	0.25	0.19	0.50	12.56	1.69	0.31	0.06	0.06		
渋谷区		0.25		8.25	1.50			0.75		
中野区	0.43	0.14	0.14	15.86	1.14			0.43		
杉並		0.10	3.40	8.30	0.50	0.10		0.70		
池袋			0.20	7.60	0.20			0.20		
北区			1.29	8.86	1.71	0.29		0.57		
荒川区	1.00	1.50	3.25	15.00	1.75	0.25		0.75		
板橋区			0.20	6.10	1.30	0.10	0.20	0.30		
練馬区	0.08	0.08	2.23	10.62	3.08		0.08	0.77		
足立	0.15	0.08	0.85	11.92	1.92	0.08	0.31	0.69		0.08
葛飾区	0.13	0.13	1.63	17.75	0.75		0.25	0.50		0.13
江戸川	0.33	0.75	1.67	16.17	3.83	0.25	0.08	0.75		0.17
八王子市	0.73	0.09	2.64	20.09	5.55	0.09	0.27	0.36	0.09	
町田市			4.63	16.63	4.00	0.13	0.13	0.63		0.13
西多摩		0.38	0.88	8.88	1.75	0.13		0.50		
南多摩	0.33		1.22	12.89	2.44	0.11	0.44	0.44		0.22
多摩立川	0.36		1.64	8.64	1.93		0.07	0.14		
多摩府中	0.19	0.14	1.67	9.81	2.57	0.33	0.62	0.67		
多摩小平	0.47	0.93	2.87	14.07	2.00	0.07	0.13	1.13	0.07	
島しょ							14.00			

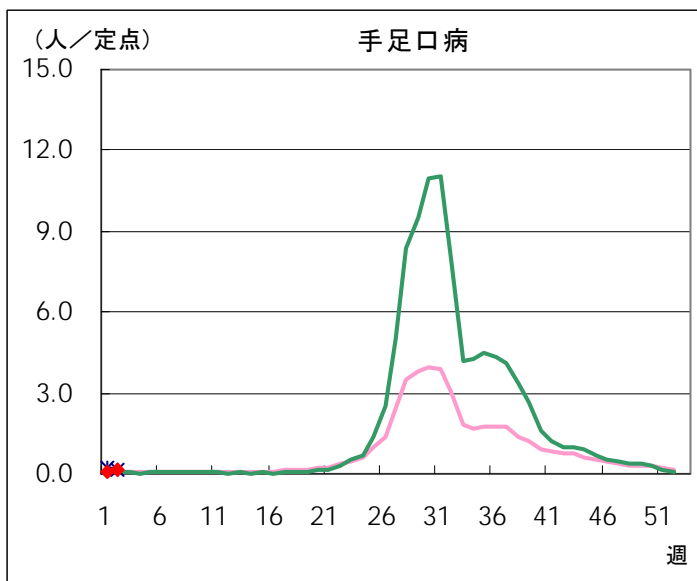
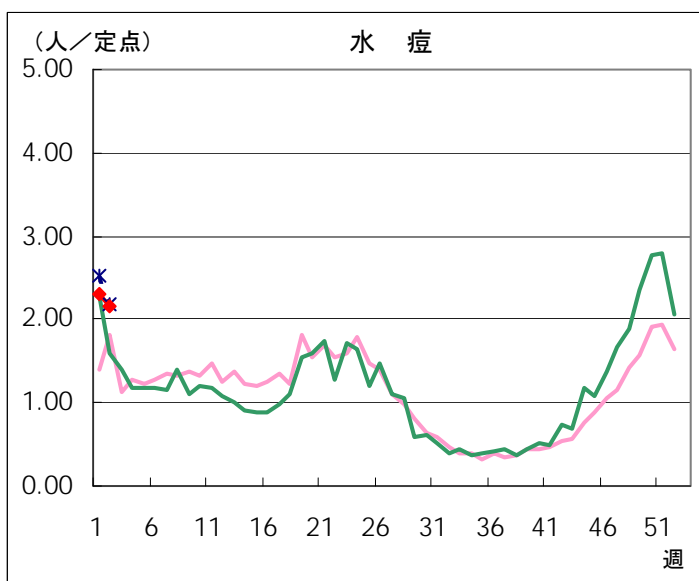
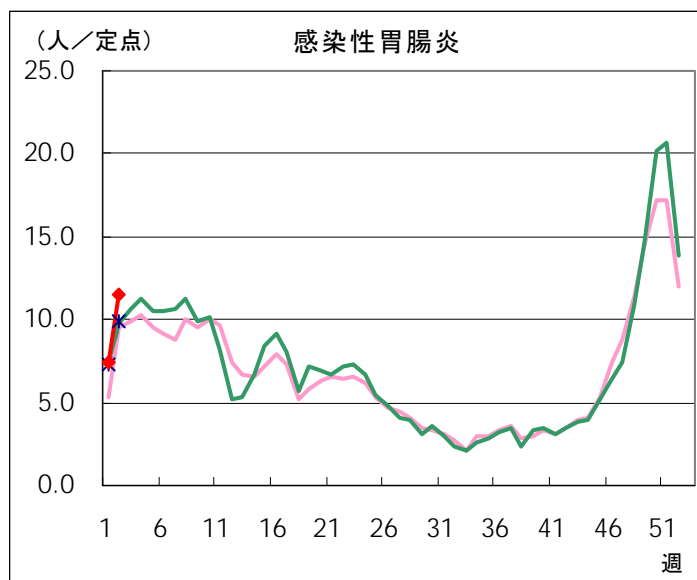
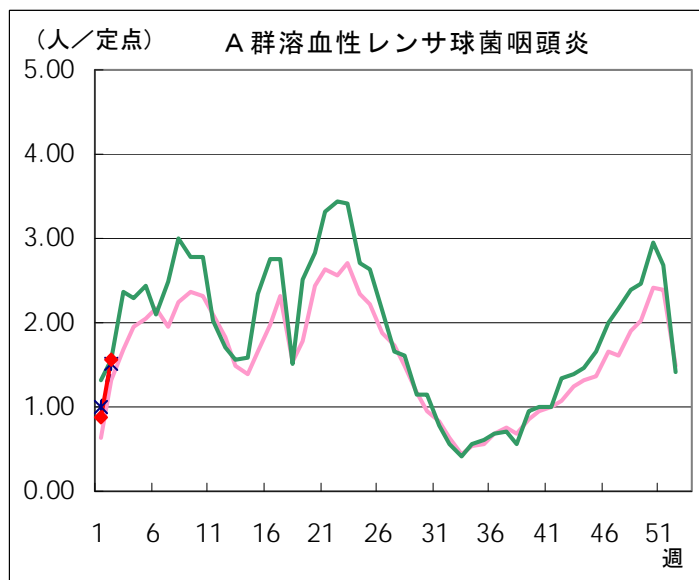
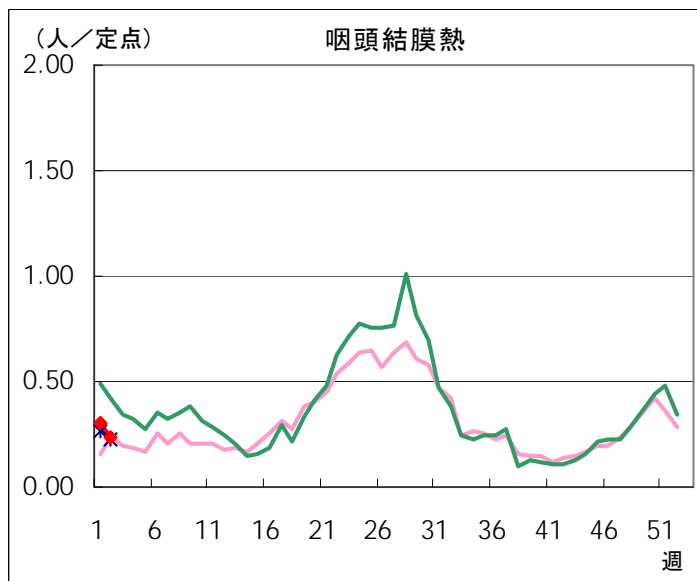
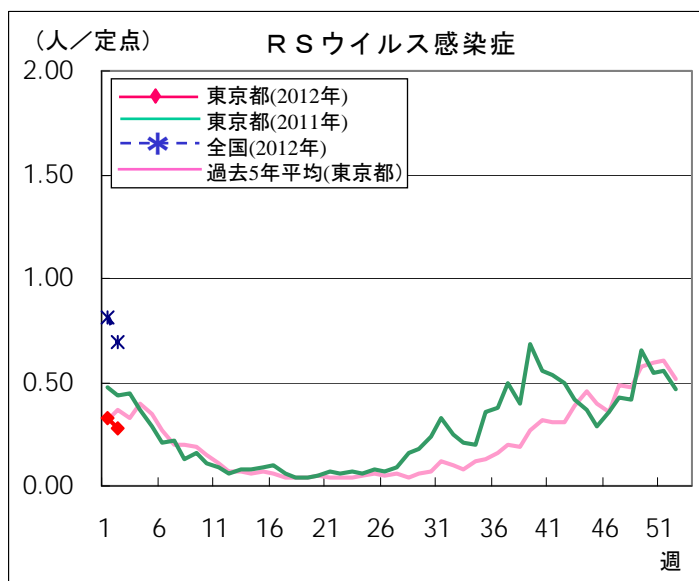
東京都	0.28	0.23	1.56	11.47	2.16	0.13	0.26	0.52	0.01	0.03
-----	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------

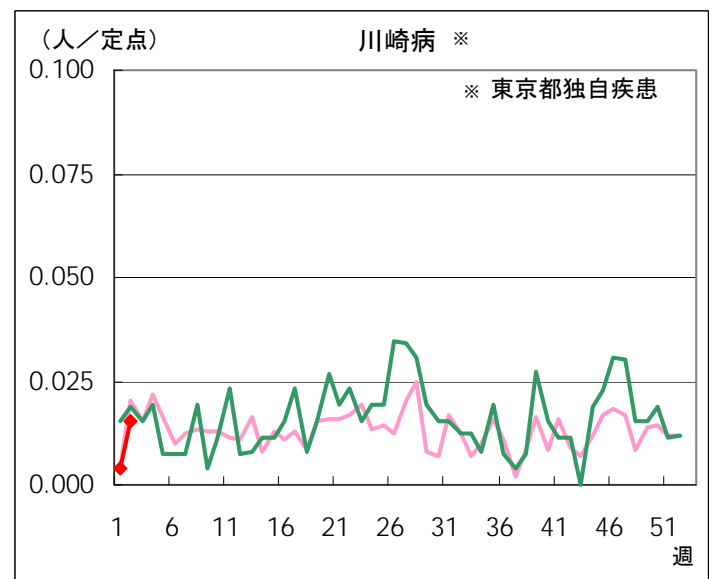
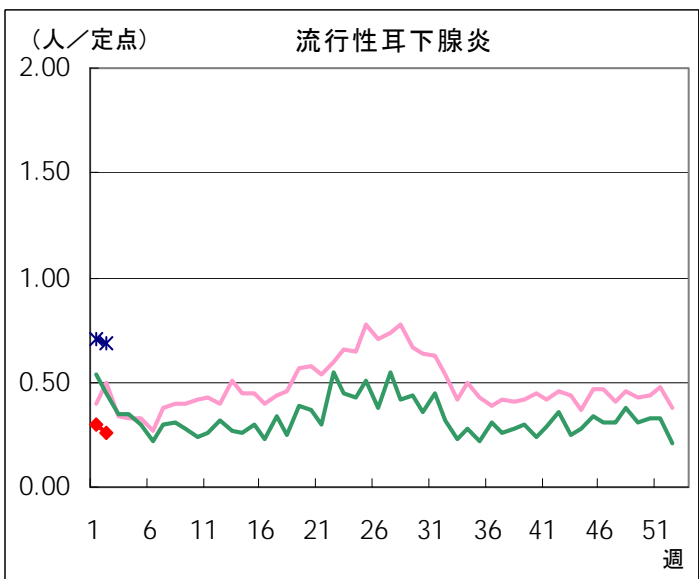
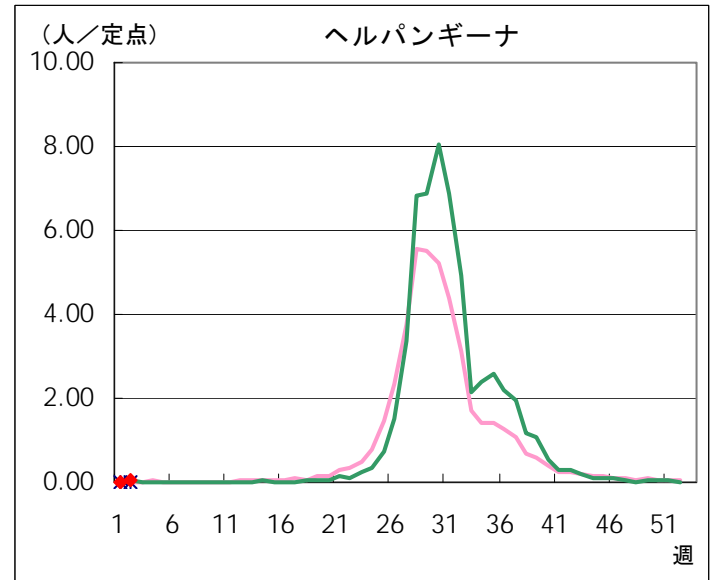
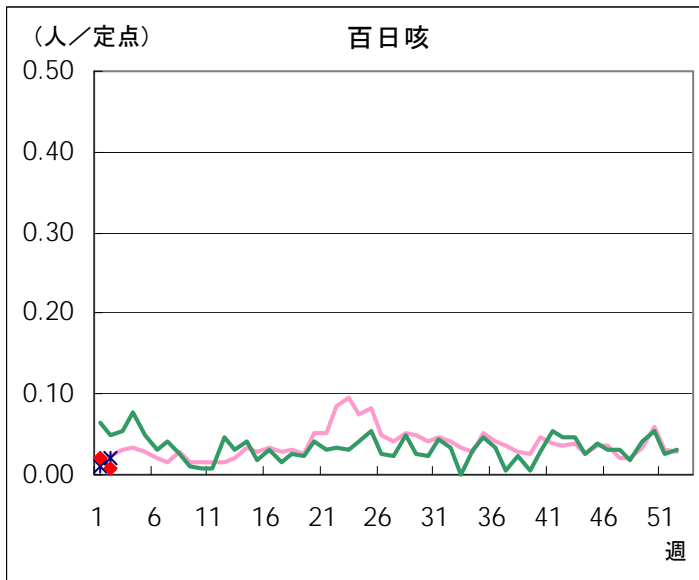
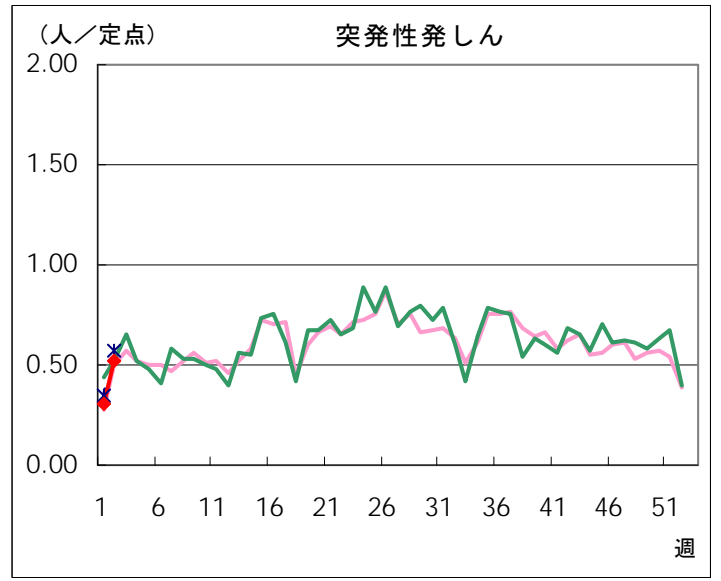
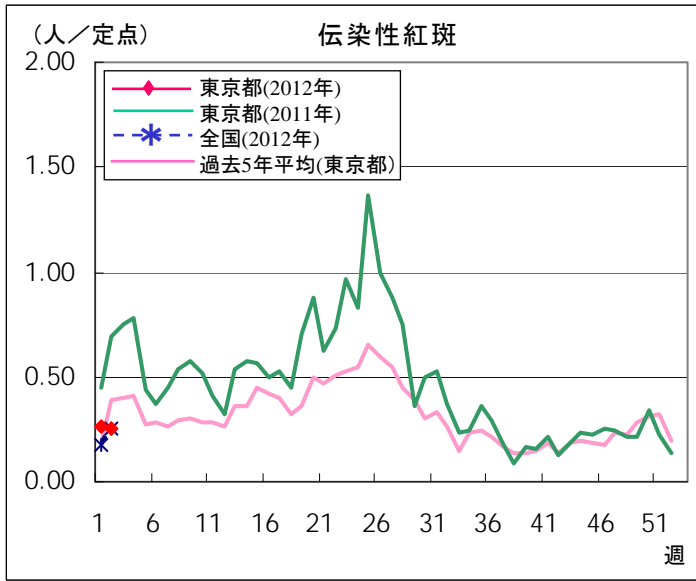
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田			0.33	2.25		
中央区				2.00		
みなと				2.22		
新宿区	0.88			2.58		2.00
文京	0.25			3.00		2.00
台東	0.50			3.29		
墨田区				1.50		
江東区			0.33	5.07		
品川区				1.33		
目黒区	0.20			0.75		
大田区	0.46	0.08		2.62		
世田谷	0.25		0.13	2.88		
渋谷区				2.29		2.00
中野区	0.86			1.55		
杉並	0.20			2.00		
池袋				2.38		
北区	0.71			3.18		
荒川区				3.00		
板橋区	0.10		0.10	1.19		
練馬区	0.23			3.95		
足立	0.15			3.55		1.50
葛飾区			0.13	6.62		2.00
江戸川	0.17			3.58		
八王子市	1.09		0.27	4.33		0.50
町田市	0.25		0.50	2.54		
西多摩	0.13		0.13	2.36		
南多摩	0.11	0.11		4.00		
多摩立川	0.43		0.36	4.29		
多摩府中	0.10	0.05		3.06		0.67
多摩小平	0.20	0.07		6.04		3.50
島しょ				4.00		

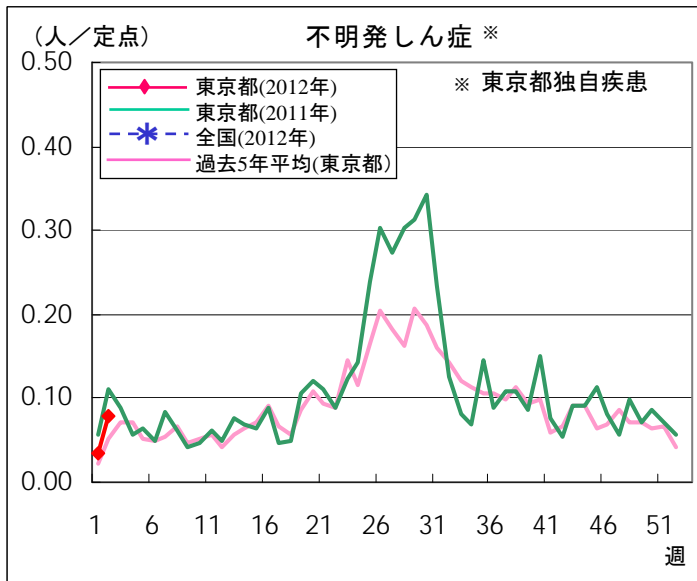
東京都	0.26	0.02	0.08	3.22		0.59
-----	------	------	------	------	--	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2012年2週現在

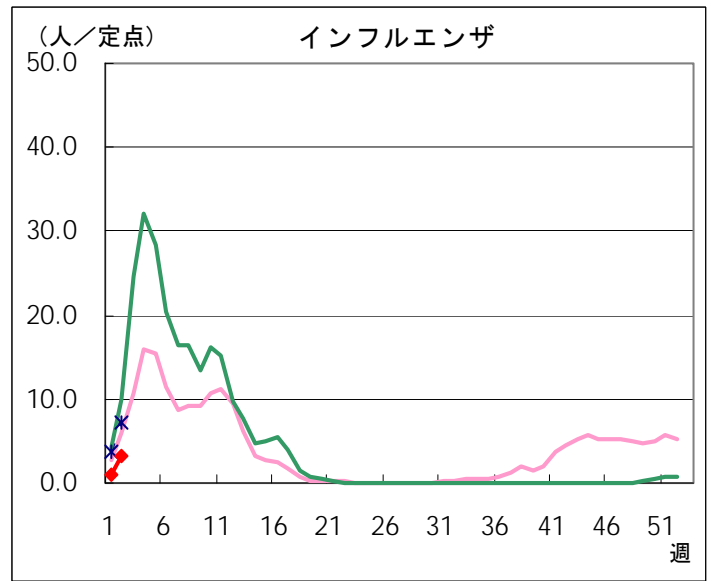
◆ 小児科定点



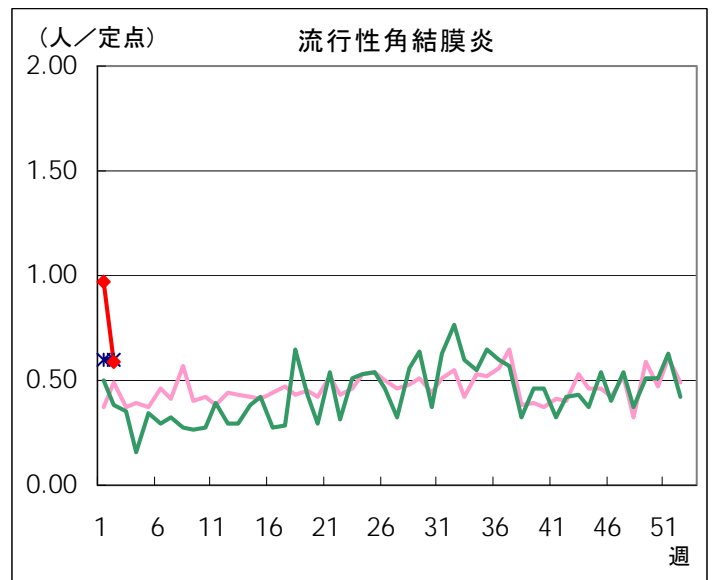
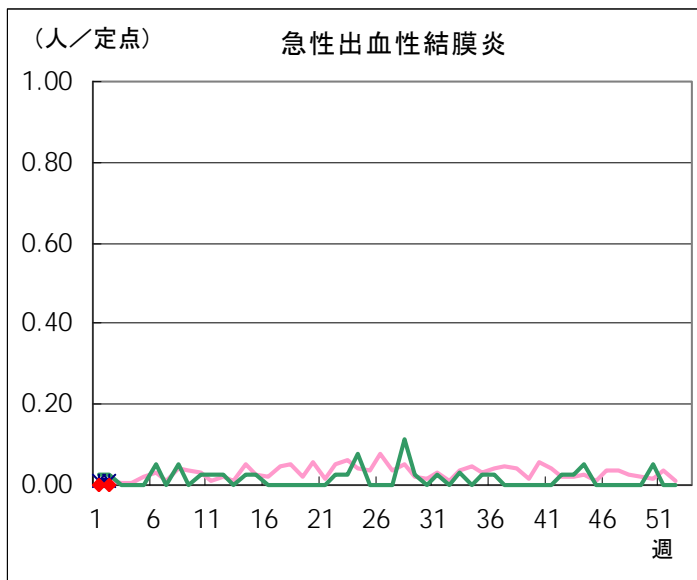




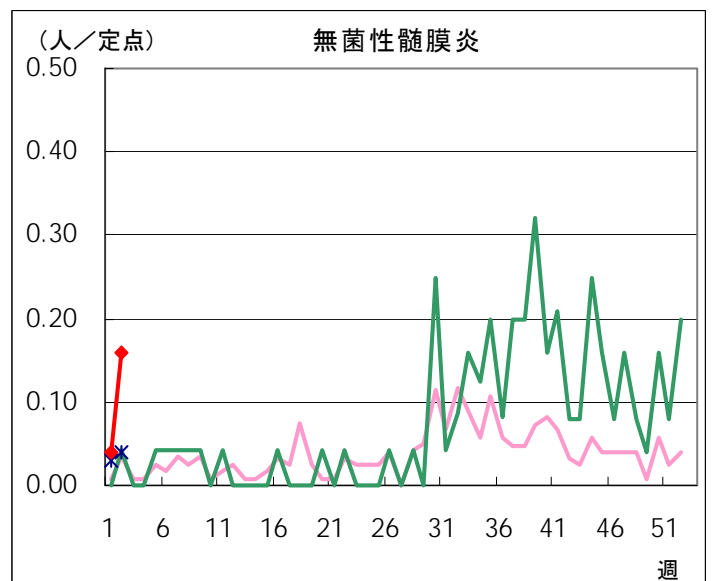
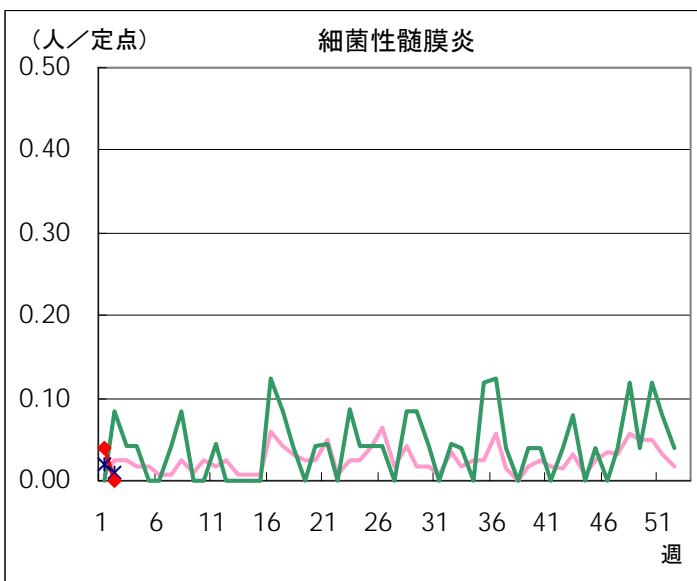
◆ インフルエンザ定点

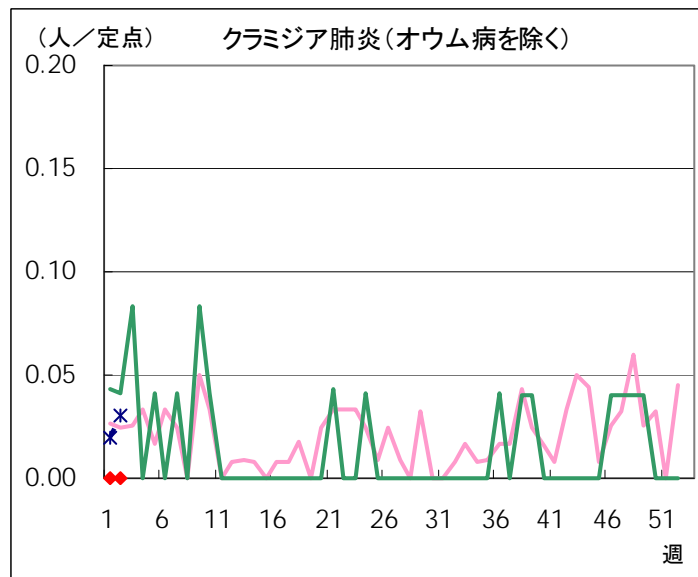
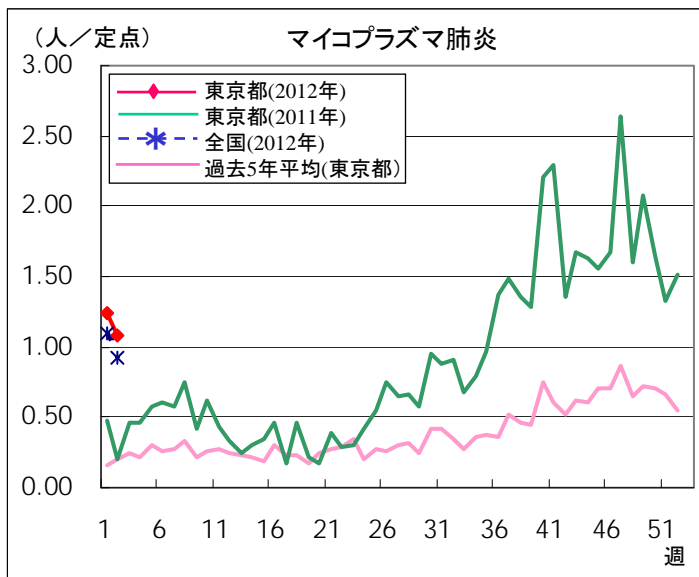


◆ 眼科定点

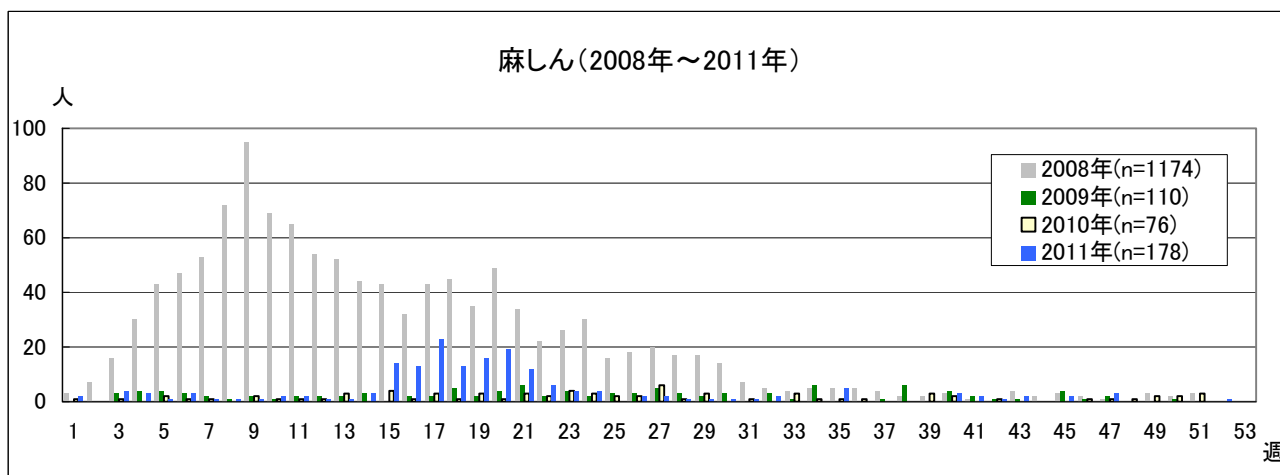
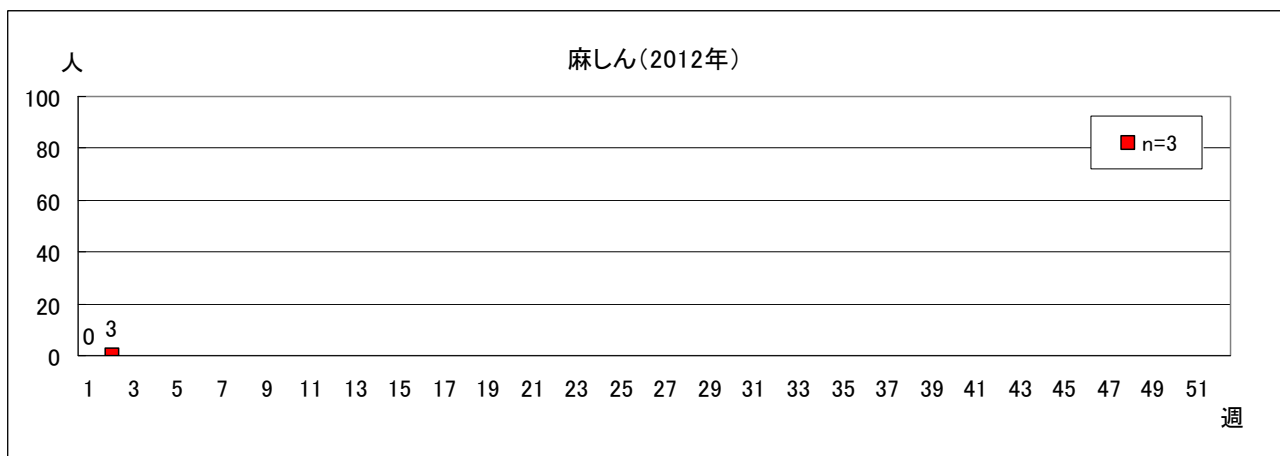


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2012年2週現在



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
12/27	RSウイルス感染症	4M	鼻汁	RSウイルス	遺伝子
12/20	肝機能障害	8M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
12/26	急性胃腸炎、横紋筋融解症	10M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
			糞便	ライノウイルス、ノロウイルス(G II)	
12/20	けいれん群発	11M	糞便	エンテロウイルス	
12/26	胃腸炎関連けいれん	1	糞便	ライノウイルス、ノロウイルス(G II)	
1/7	咽頭結膜熱、アデノウイルス感染症	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
12/28	嘔吐下痢症	1	糞便	ノロウイルス(G II)、サポウイルス	
1/5	急性脳症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
1/4	けいれん群発	1	髄液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
12/29	脳症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
12/24	急性咽頭炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
1/4	突発性発しん	2	記載なし	ヒトヘルペスウイルス 6型	
1/4	耳下腺腫脹	3	咽頭拭い液	EBウイルス	
12/日付記載なし	肺炎	4	咽頭拭い液	ライノウイルス、RSウイルス	
			気管吸引液	RSウイルス	
12/28	急性扁桃炎	6	咽頭拭い液	エンテロウイルス、EBウイルス	
12/21	咽頭結膜熱	10	結膜拭い液	単純ヘルペスウイルス 1型	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1pdm09*型	AH1型	AH3型	B型
1週	1		3	
2011-2012年 シーズン累計**	1		23	2

* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記をAH1pdm09とします。

** 2011-2012シーズンの開始は第36週(2011年9月5日～)

◇定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関からいただきました、インフルエンザ迅速診断結果とコメントを下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果			医療* 機関数	備 考
	A型	B型	記載なし		
千代田	1			1	・区外の小学生でH1N1。イナビル吸入により3日で治癒。
新宿区	4			3	
台東	18	3		6	
江東区	53	10	1	11	・3名全てA型(うち2名は兄弟)。
品川区	7	2		3	
目黒区	4			3	
大田区	28	2		8	
世田谷	16	2		8	・A型2名、うち1名はワクチン接種済。 ・A型1名、今年初のインフルエンザ。
渋谷区	8			2	
中野区	16	1		8	
杉並	5			2	
池袋	3	1		2	
北区	19	2		5	・インフルエンザA型3名(うち2名は同居人)。
荒川区	15	1		4	
板橋区	5			2	
練馬区	31	6	4	7	
足立	11	12		6	
八王子市	48	5	1	7	
町田市	3			1	
西多摩	14			4	・3名A型(家族内感染)。
南多摩	46	5	1	6	
多摩立川	18	3	15	7	
多摩小平	77	4		11	
島しょ	8			1	
合 計	458	59	22	118	

* 迅速診断結果をご報告いただいた医療機関数

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2011年						2012年	
		46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週
ウイルス	アデノウイルス	3	8	4	3	5	4		2
	ライノウイルス	11	6	5	4	4	2	3	1
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	3	1	2	7	2	1		2
	単純ヘルペスウイルス		1				3	1	
	水痘・帯状疱疹ウイルス					1			
	ヘルペスウイルス6/7	2	4	5	3	4	1		4
	EBウイルス	1		1			2		2
	サイトメガロウイルス			1				1	
	ムンプスウイルス	4		1		1	2		
	麻疹ウイルス								
	風しんウイルス								
	パルボウイルスB19	2							
	RSウイルス	4	3	3	2	3			3
	ノロウイルス	1		1	2	3	2	3	
	ロタウイルス			1					
インフルエンザウイルスAH1									
インフルエンザウイルスAH3	3	1	2	6	2	4	1	3	
インフルエンザウイルスB	1								
インフルエンザウイルスAH1pdm09								1	
デングウイルス(抗体を含む)			1						
その他のウイルス	1						1		
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌	2	1		8	3	1		
	百日咳	4			2	1			
	マイコプラズマ	3		1	6	1			
	その他の細菌	5	1	1	4	1			
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2011年46週～2012年1週

臨床診断名 検出病原体		インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他
搬入検体数		30	42	58	28	19	4	8	4		6		26	9	1	1	1	79
ウイルス	アデノウイルス	3	5	4	3		2		1		2		1	1				7
	ライノウイルス	1	5	13	6			1			1		1	1				7
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	1	5	4	1						3		2		1			1
	単純ヘルペスウイルス					2	1				1							1
	水痘・帯状疱疹しんウイルス										1							
	ヘルペスウイルス6/7												15		1			7
	EBウイルス		1	1										2			1	1
	サイトメガロウイルス		1															1
	ムンプスウイルス					2								5				1
	麻疹ウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19													1				1
	RSウイルス		1	14							1							2
	ノロウイルス				11													1
	ロタウイルス				1													
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3	21																	1
インフルエンザウイルスB	1																	
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1																	
デングウイルス(抗体を含む)																		1
その他のウイルス				2														
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		6					7										2
	百日咳		7															
	マイコプラズマ			11														
その他の細菌		8	2				1										1	
その他の病原体																		

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2011年12月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	108	2.00	54	55
		女	68	1.26		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	58	1.07		
		女	35	0.65		
	尖圭コンジローマ	男	43	0.80		
		女	23	0.43		
	淋菌感染症	男	88	1.63		
		女	20	0.37		
	膺トリコモナス症 *1	男				
		女	4	0.07		
梅毒様疾患	男	14	0.26			
	女	1	0.02			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	46	1.84	25	25
		女	31	1.24		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	23	0.92		
		女	23	0.92		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男				
		女				
薬剤耐性 アシネトバクター感染症 *2	男					
	女					

2012/1/17

*1 性感染症定点から報告される『膺トリコモナス症』とは、原虫の一種である膺トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膺、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

*2 2011年2月1日より新たに指定された。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2011年12月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	5		2	1		
20～24歳	18	2	5	14		1
25～29歳	20	5	5	18		2
30～34歳	17	11	9	17		5
35～39歳	18	4	10	13		3
40～44歳	13	12	6	10		2
45～49歳	6	10	4	4		1
50～54歳	4	8	1	6		
55～59歳	5	3		3		
60～64歳	2	1		1		
65～69歳				1		
70歳～		2	1			
合 計	108	58	43	88		14
先月数	105	63	51	91	8	14
増減数	3	-5	-8	-3	-8	

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳	1					
15～19歳	9	5	2			
20～24歳	23	4	8	9		
25～29歳	16	9	2	4		
30～34歳	7	6	3	1		
35～39歳	7	3	3	2		
40～44歳	2	4	1	2		
45～49歳	2		1	2	1	
50～54歳		1	1		1	
55～59歳	1	2				
60～64歳			2		1	
65～69歳						1
70歳～		1			1	
合 計	68	35	23	20	4	1
先月数	73	32	27	19	16	1
増減数	-5	3	-4	1	-12	

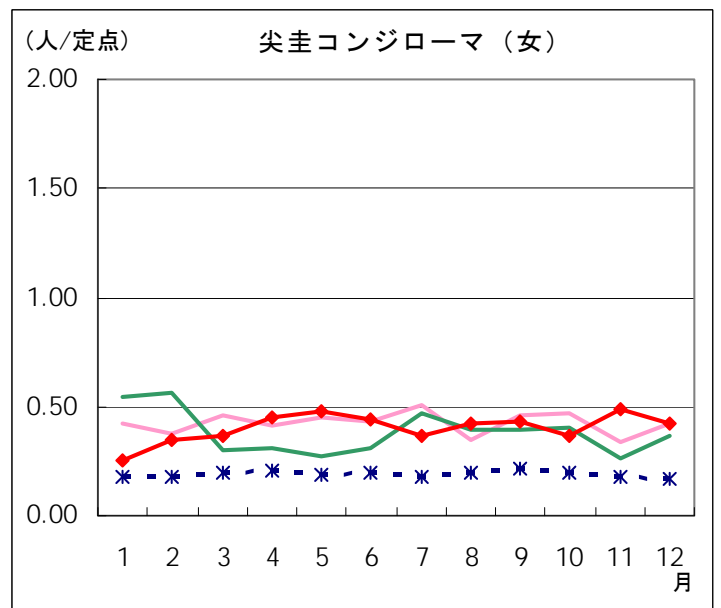
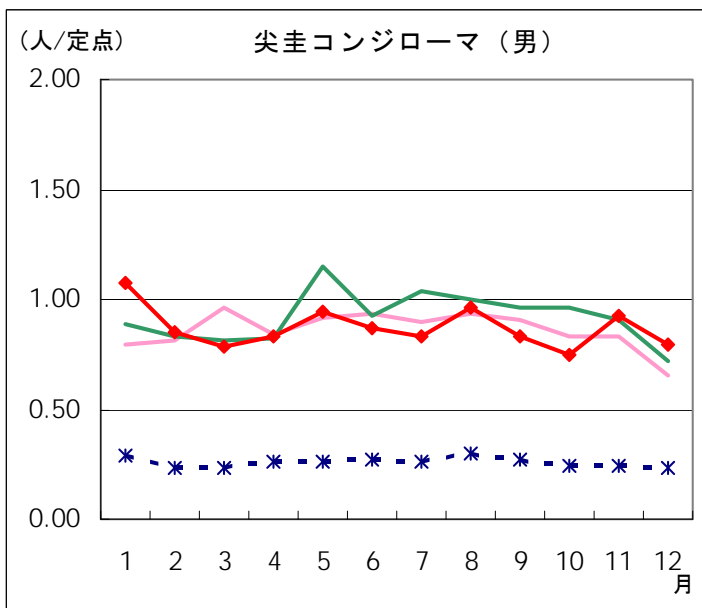
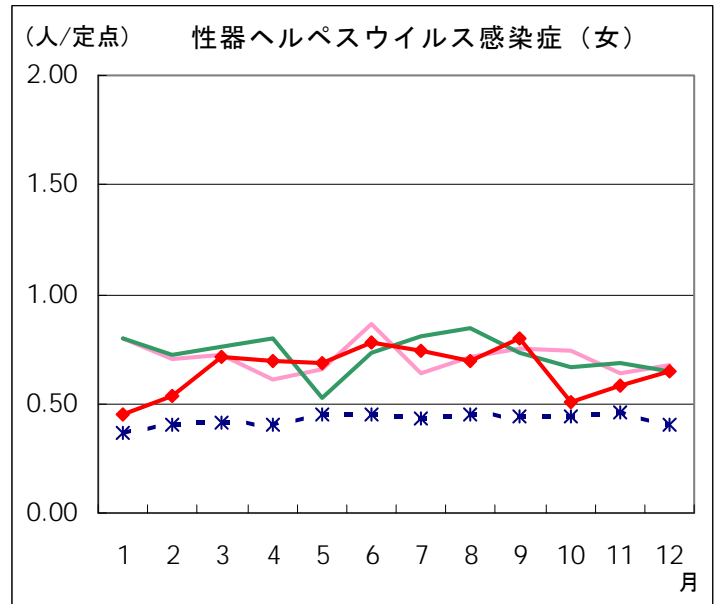
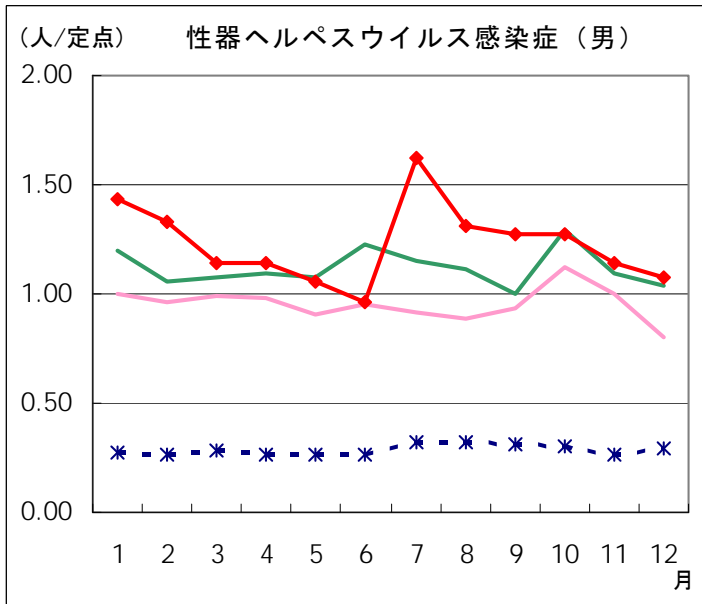
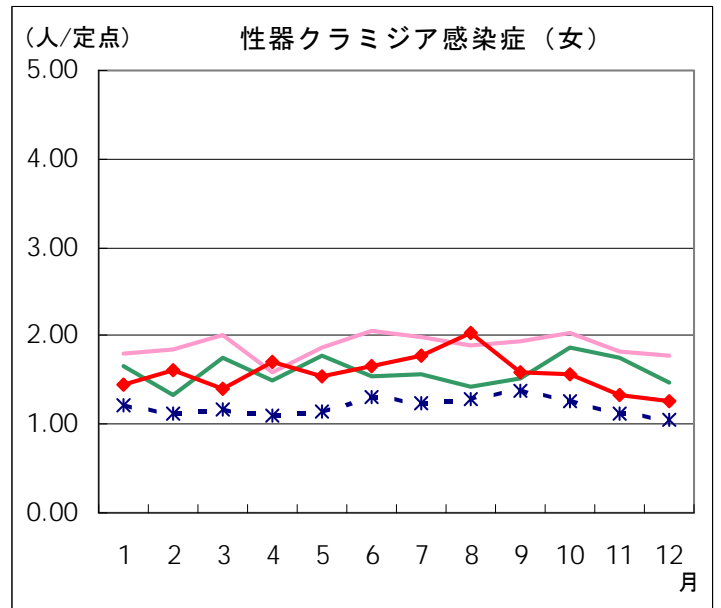
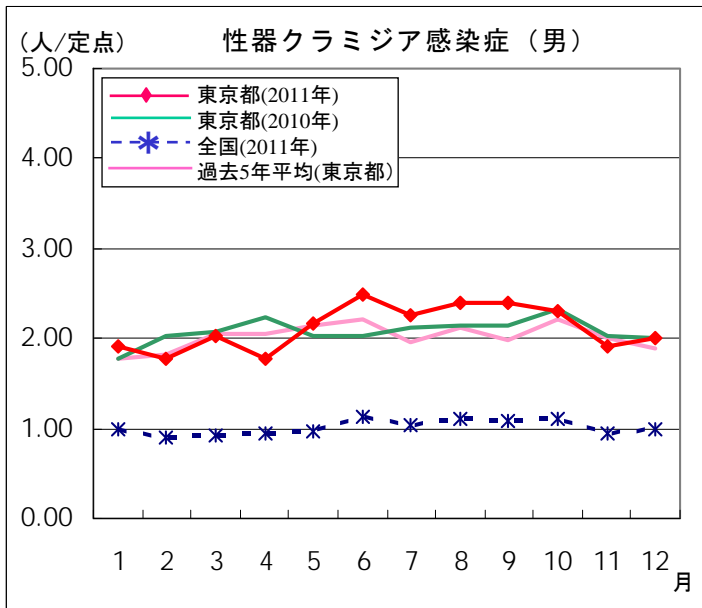
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2011年12月

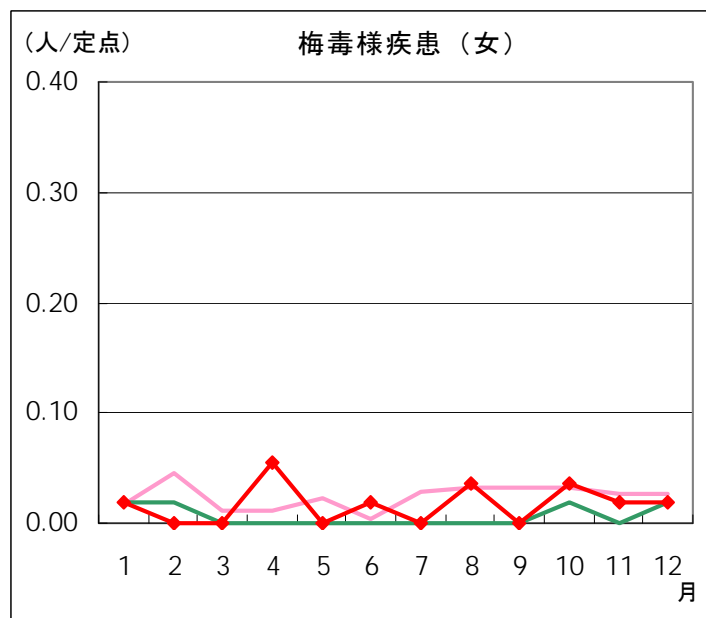
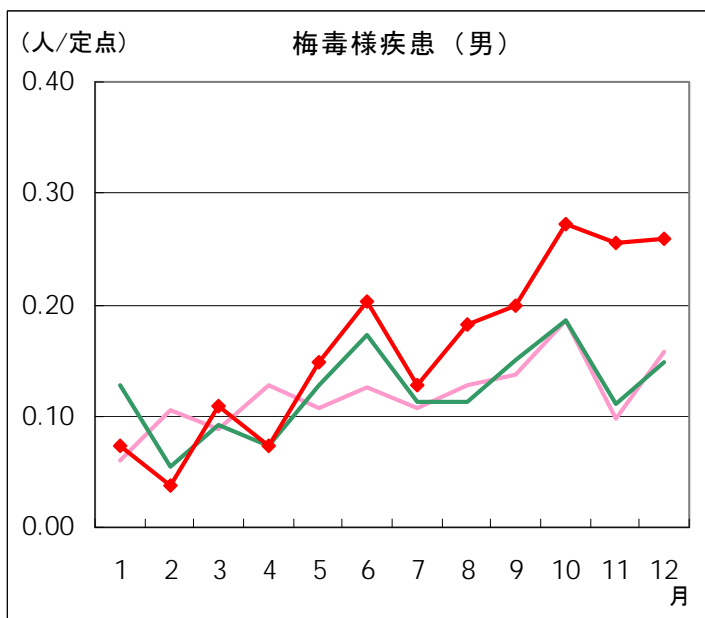
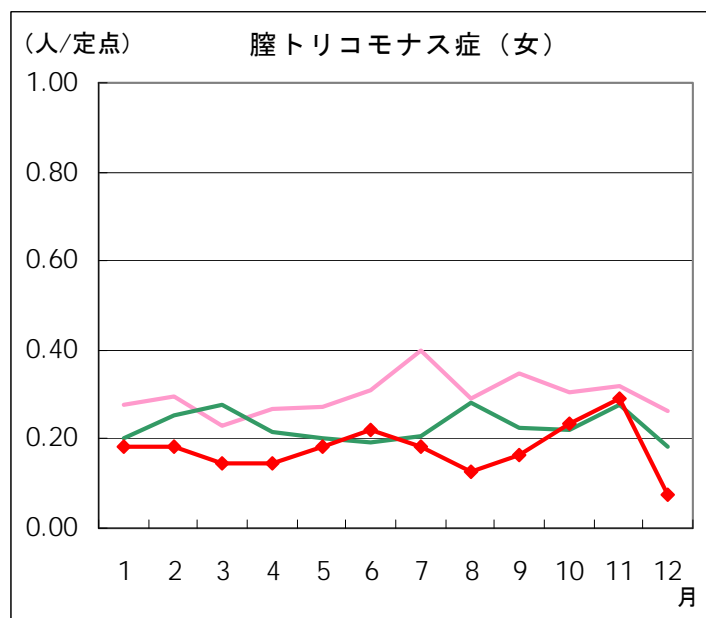
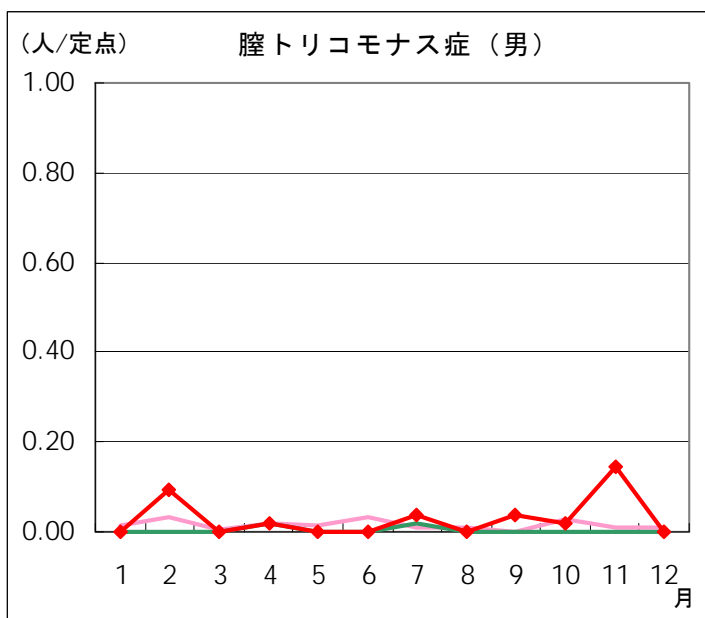
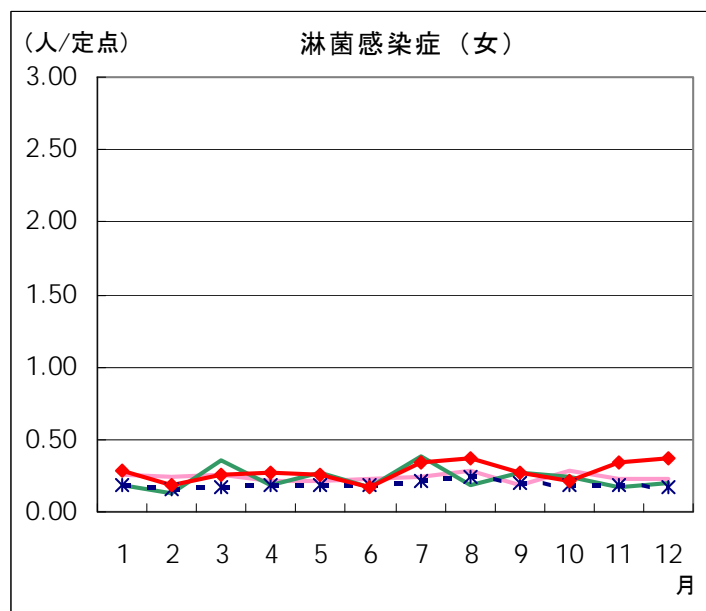
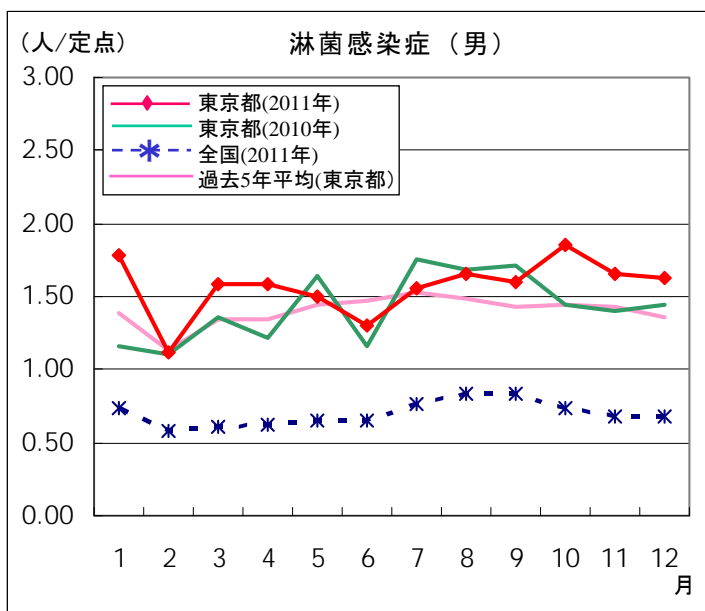
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	11	3	5	15		1
中央区	3	10	4		2		
みなと	2	7	21	9	5		1
新宿区	7	25	11	12	25		10
文京	1	2	1	1	2		
台東	2						
墨田区	2	4	1	1	1		
江東区	2	12	5	4	4		
品川区	1	9	3	2	6		
大田区	2	3					
渋谷区	5	8	3	1	9		
中野区	2	1	3		3		2
杉並	2						
池袋	3	9	3	7	5		
北区	1	2		1			
荒川区	1						
板橋区	2	2			4		
足立	2	1			3		
江戸川	1	2			3		
八王子市	4						
町田市	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3				1		
多摩小平	1						
合 計	54	108	58	43	88		14
定点当たり		2.00	1.07	0.80	1.63		0.26

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2				1		
中央区	3	2	1		1	1	
みなと	2	5	5	2			
新宿区	7	8	6	12	3		
文京	1						
台東	2	6	1				
墨田区	2			1	1		
江東区	2	1	1		1		
品川区	1	1			1		
大田区	2	3					
渋谷区	5	2	7	2			
中野区	2			1		3	
杉並	2						
池袋	3	10	7	3	3		
北区	1						
荒川区	1	4	2		3		
板橋区	2	4	2	1			
足立	2						1
江戸川	1						
八王子市	4	4		1			
町田市	1	2	1		2		
多摩立川	2	15	2		3		
多摩府中	3	1					
多摩小平	1				1		
合 計	54	68	35	23	20	4	1
定点当たり		1.26	0.65	0.43	0.37	0.07	0.02

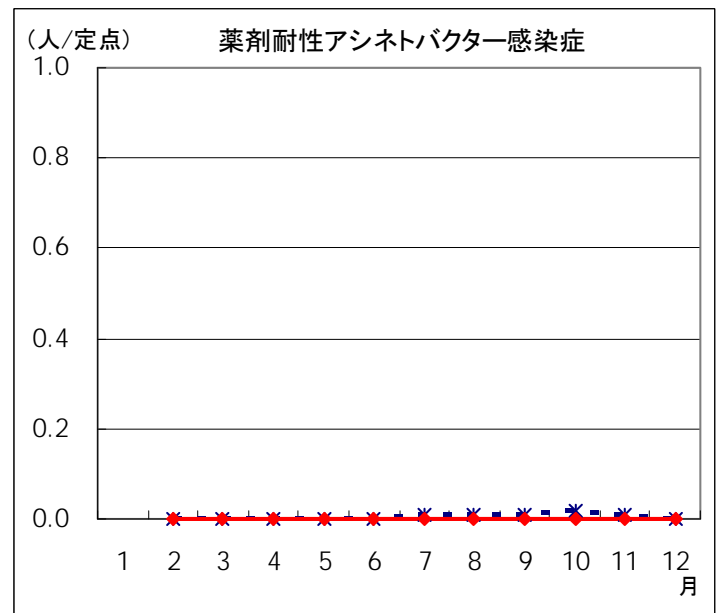
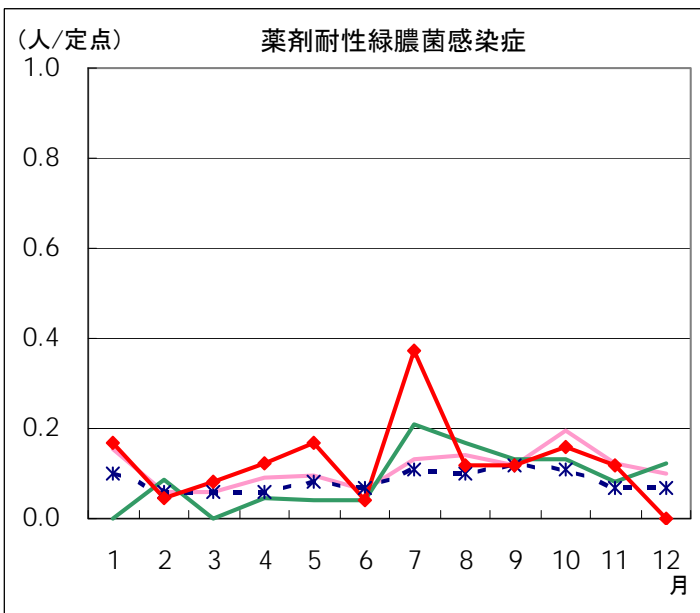
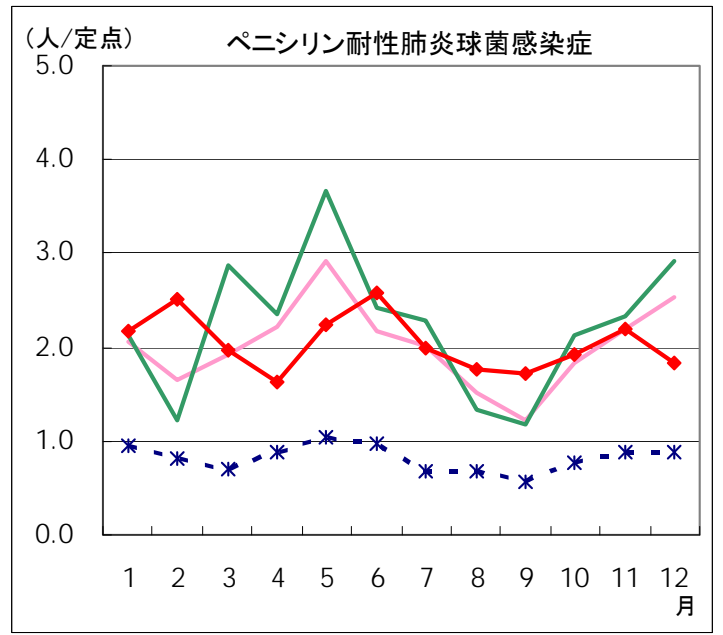
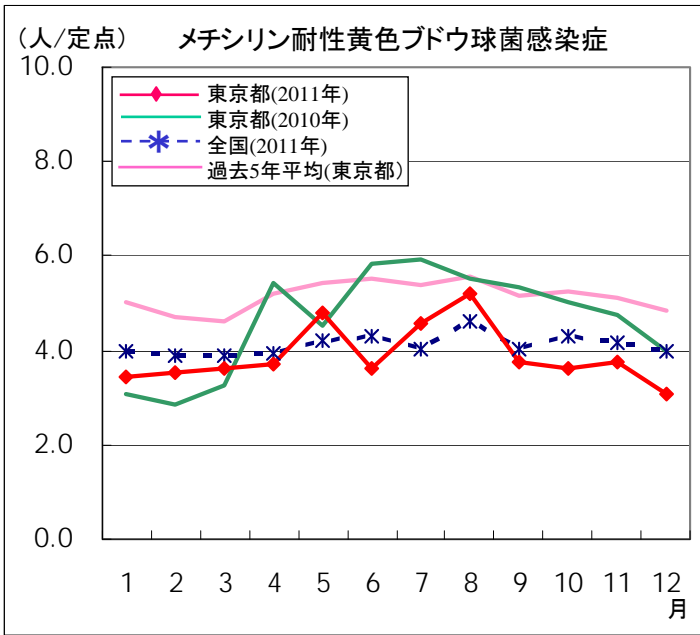
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2011年12月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
12/13	尿道炎	25	男	尿	クラミジア	遺伝子
12/15	尿道炎	25	男	尿	クラミジア	
12/13	淋菌性尿道炎	27	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定
12/20	尿道炎	28	男	尿	クラミジア	遺伝子
12/6	陰茎コンジローマ	31	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 6型	
12/13	陰茎コンジローマ	37	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 11型	
12/6	陰茎コンジローマ	39	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 16型	
12/20	外陰部ヘルペス	39	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	
12/20	陰茎コンジローマ疑い	42	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 6型	
12/8	性器ヘルペス	45	男	皮膚病巣(水疱内容物)	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	
12/5	尖圭コンジローマ	45	男	コンジローマ部位擦過物	ヒトパピローマウイルス 51型	
12/6	尿道炎	45	男	尿	クラミジア	
12/5	子宮頸管炎疑い	50	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	

<感染症豆知識>

ロタウイルスワクチン

ロタウイルスは小児感染性胃腸炎の主病因であり、脳炎・脳症等の多彩な重症腸管外疾患を生ずることもある。日本では年間 120 万人が発症し、死亡は 10～20 人と推計されているが、世界では数十万人が死亡し、WHO は 2009 年にロタウイルスワクチンをすべての国の定期接種にするように勧告した。死亡率の少ない先進国のワクチンの目標は、初感染の重症化を防ぎ、高い費用対効果を得ることにある。

1998 年、米国でロタシールド (RRV-TV、4 価ヒトアカゲザル遺伝子再集合体ワクチン) が定期接種となったが、約 1 万人に 1 人の割合で腸重積が起こり 1999 年に中止された。後に米国 NIH は、腸重積発症は生後 3～7 ヶ月に接種したときに生じやすいと解析した。

現在世界で使用されているワクチンは、ロタリックス (GSK 社) とロタテック (MSD 社) の 2 種類で、いずれも経口弱毒生ワクチンである。約 120 カ国で承認され、29 カ国で定期接種になっている。我が国でも昨年 11 月 21 日よりロタリックスの任意接種が導入された。ロタリックス (RV1) は 1 価のヒトロタウイルスで、自然感染時のメカニズムと同様に、成立抗体は A 群の 5 抗原と交叉免疫がつく。欧州では胃腸炎の発症を 79%、重症化を 90%、入院を 96% 抑制した。国内臨床試験では重症胃腸炎を 92% 抑制した。主な副反応は易刺激性、下痢、咳・鼻漏等で腸重積はなかった。

一方、ロタテック (RV5) は 5 価のヒトウシ遺伝子再集合体ワクチンで、我が国では昨年 10 月に承認されたがまだ販売されていない。2007 年米国で定期接種となり、胃腸炎の 74%、重症化の 98%、入院の 96% を抑制した。

腸重積のリスクを減らし初感染の重症化を予防するため、両ワクチンとも生後 6 週から開始し、ロタリックスは 24 週までに 2 回、ロタテックは 32 週までに 3 回接種する。現在、ロタウイルス疾患やワクチンへの関心は必ずしも高くないので、妊娠中から保護者に疾患啓発が必要である。

(文責 くろさわ子ども&内科クリニック 黒澤サト子)